

常南っ子「家康検定」スタート!



郷土の誇り「家康公」を理解する

■ 「常南っ子 家康検定」9.20(火)スタート ■

- ・全部で10問(すべて4択) * 出題は事前に配布した資料から
- ・7問以上の正解で合格 * 検定は校長室にて実施
- ・合格者には検定合格証を出します



発行所
常磐南小学校
電話 46-2005
FAX 46-2048
— 第27号 —
2022.9.30

土曜夜のゴールデンタイム。心がほっこりする旅番組がある。「ご存じ、出川哲朗の充電させてもらえませんか」。

電動バイクの充電が切れたところから始まるホットな交流。出会った町、出会った人々を丸ごと笑顔にする出川さんのパーソナリティーが光る。

番組の魅力は、何といても出川さんの魅力にある。人を楽しませようとする根っからのプロ意識に。

胸を張れ

2022.9.30

*出川哲朗の母ちゃんがすこい

校長 都筑祐一



強い信念とは、何があってもぶれない姿勢。出川さんは「プロフェッショナルとは？」の問いに、「ぶれないこと」と答えた。

働き盛りの30代。出川さんは世間からの悪評に苦しんだ。「横浜の恥」「死ね」「気持ち悪い男No.1」。数々の誹謗中傷を受け、歩いていただけ物を投げられた。しかし、50代になつた今、TVのレギュラー番組からCMまで、顔を見ない日はほとんどない。「ただ笑ってもらえることが自分へのご褒美」、そんな信念を貫き、周りの見る目は大きく変わった。

そしてぶれない人がもう1人いた。母親だ。誹謗中傷が実家の家族にまで及び、一家挙げて苦しい状況が生まれた。そんななか、こんな会話があった。

(出川)「母ちゃん、ごめん」

(母)「どんなことでも1番になることは、それだけですこいことなんだから。大丈夫。哲ちゃん、胸を張れ!」

この母なくして、今の「出川哲朗」はきつとなかった。

何を言われようが、信じた道をぶれることなく進むこと。それを無条件に受け入れ応援する家族の存在。

改めて子どもたちが進みたいと考える道、叶えたい夢を応援していきたいと思う。「胸を張れ!」と応援できる教師、家族でいたいと思う。